

平成30年度油等汚染事故対策水鳥救護研修 講義内容

講義内容は鳥獣保護行政担当者向けと現場救護リーダー向けで若干異なります。

	講義名	内容	鳥獣保護 行政 担当者向	現場救護 リーダー向 け
1.	国の油等汚染事故対応	油流出事故における法体制・事前準備と緊急時対応、NPOやボランティアとの協働及びその養成	○	
2.	油等流出事故の基礎知識	油等流出事故とは何か、なぜ起きるのか、流出油の性状と経時変化、事故への対応と流出油の防除法	○	○
3.	都道府県の油等汚染事故対応	防災ガイドラインやマニュアルへの油等汚染事故対応の明記、事前準備、油汚染事故時の各種対応、体制づくり、事後処理、報告	○	○
4.	日本の油等流出事故に向けた情報体制	情報収集、連携と体制づくり	○	
5.	水鳥の生態	水鳥の種類、生体、生息状況、被害把握等、影響調査の意義	○	
6.	油汚染鳥の保護法	保護から放鳥まで、汚染鳥の状況、優先順位、収容中の飼育管理、傷病鳥の診療	○	○
	油汚染鳥の治療法		○	○
	油汚染事故事例		○	
7.	洗浄実習	保定、カルテ記入、一般検査、強制給餌、洗浄と乾燥	○(90分)	○(120分)
		プールの設置、採血、血液検査、油と羽毛について		○(50分)